



いずれも素晴らしい活動です。これからもがんばってください！

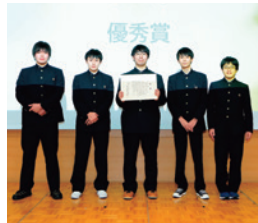
優秀賞 北海道羽幌高等学校

SBFプロジェクトチーム

羽幌町に飛来する海鳥と今後の課題

私たちは一年生で年2.5時間、生物調査や海岸清掃などを行い、環境活動について学ぶ授業を受けています。並行して、私たちプロジェクトチームは羽幌町の海鳥の保護について深く探求しています。

環境省の方々や絶滅危惧種である海鳥の数をどう守り、増やせるかを協議したり、イベントでの啓発活動やボランティア活動などに積極的に参加し、多様な生物が共存できる社会に少しでも貢献できるように頑張りたいです。



優秀賞 岩手県立花巻農業高等学校

ソーセージ研究班

サスティナブルな地域創生児

～ホップの抗菌作用を活かした商品開発に関する研究～

北上市の特産物である二子芋の頭芋が毎年3トンも廃棄されている。その有効利用をソーセージでできないものかと「長期保存」に視点を置き、ホップの毬花の抗菌力を持つとされているルプリンを抽出し製造。36日間の賞味期限をつけられた。

食品ロスを抑えるサスティナブルな商品として期待を持っている。

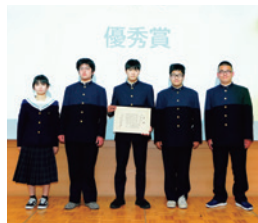


優秀賞 愛知県立佐屋高等学校

科学部

愛知県愛西市内用水路に生きるカメ類

アカミミガメは地域に侵入すると、食性から生態系を脅かします。私たちは、水路内に生息するカメ類の季節変動や採捕個体の雌雄判別・年齢・体長などを調べるとともに、駆除後の処理方法も考えました。また行動特徴も調査することにし、カメの甲羅に小型カメラを取り付け水路やため池に放し、どのようにカメが行動するのか追い続けました。撮影された映像を見て、カメの目線で見える外の世界が分かってきました。



優秀賞 山口県立下関西高等学校

公民班

下関市風力発電導入大作戦～脱炭素社会の実現に向けて～

風力発電を導入するために、地域住民の同意を得るには何が必要かを探究しています。風力発電の導入を後押しすることで、脱炭素社会の実現に貢献することが目標です。風力発電建設の反対運動に参加された市議会議員の方にインタビューをしたことで、住民の反対理由やコスト面、国防問題をもとに考えることができました。下関市を環境にやさしい持続可能な街にするために、これからも探究を続けていきます！



優秀賞 山口県立下関西高等学校

化学2班

カイロを変えろ!!

冬に多くの人を使うカイロ。学校で毎日大量に出るチョークの粉。私たちはこの二つに注目し、新しいカイロを作ることでSDGsに貢献できると考えました。そこで、カイロに使われている活性炭をチョークの粉に変えて実験を行い、実験の結果、チョークは活性炭の代わりになることを立証しました。これからは、チョークを使って長時間一定の温度を保つカイロを作ることができるよう、改良を重ね、実用化を目指します。



優秀賞 愛媛大学附属高等学校

理科部プラガールズ

瀬戸内海のマイクロプラスチック汚染の実態と対策に向けた啓発活動

「プラスチックを上手に使う生活を続けながら海の環境も守っている未来」を目指して活動しています。

瀬戸内海は生活プラごみ以上に地元の漁業や農業に由来する産業系プラスチック汚染が深刻で、海洋生分解性プラスチックの開発・普及が必要です。そのための調査と研究、情報発信や啓発を進めています。



優秀賞 愛媛県立長浜高等学校

チーム530

カワイのぼり旗でゴミを減らそう！ えひめゴミ0プロジェクト

ゴミ問題を地域の課題と捉え、捨てられるゴミを減らすことを目標に活動しました。本校をモチーフにした漫画の主人公をのぼり旗にデザインし公園に立てることで、捨てられるゴミの量を劇的に減らすことに成功しました。この取組は現在も継続しており、自主的な美化活動が始まるなど活動の輪が広がっています。



優秀賞 大分県立大分商業高等学校

商業調査部

食品ロスさせない連携

～規格外トマトを活用した商品開発～

「食品ロス削減」をテーマに、本来であれば廃棄されてしまう規格外トマトを活用した商品開発に挑戦し、オリジナル商品「とまドレ・とまソース・とまみそ」を開発しました。ごみが商品として生まれ変わる「食リサイクル」を実現した商品で、未来の地球環境を、みなさんと一緒に創る商品でもあります。

